

CO2排出係数

◆実排出係数とは、

- ・CO2排出係数は、電力会社が一定の電力を作り出す際にどれだけの二酸化炭素を排出したかを押し測る指標です。「実二酸化炭素排出量÷販売電力量」で算出され、「kg-CO₂/kWh」という単位で表します。発電に使う燃料によって二酸化炭素の排出量も違ってきます。
- ・グリーン・市民電力も含め、電力会社は様々な発電所(燃料)を使って発電を行なっています。その発電所の構成比が、CO₂排出係数の差として現れてきます。
- ・この係数が小さいほど、kWhあたりの電気を発電するにあたっての二酸化炭素の排出量が少なくなることになります。
- ・原子力発電所の電気も発電時にはCO₂を排出しないため、原発だけの電気の場合は、CO₂排出係数は0となります。

◆調整後排出係数とは、

再生可能エネルギーの全量固定買取価格制度のもとでの環境価値が調整された排出係数です。

※二酸化炭素排出係数には、発電所・発電設備の建設・製造や廃棄に伴う二酸化炭素排出分は含まれていません。

【(2017年度実績)販売電力量とCO2排出係数】

2017年度 販売電力量 (10 ³ kwh)	二酸化炭素排出量 (10 ³ t-CO ₂)	二酸化炭素排出 係数 (kg-CO ₂ /kWh)
16,871	(実二酸化炭素排出量) 6.107	(実排出係数) 0.362
	(調整後二酸化炭素排出量) 5.403	(調整後排出係数) 0.320

上記値は、「地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)」に基づき、7月に国に報告した値です。

※国にて確認のうえ、秋以降、官報にて公表される予定です。
修正があれば、修正したものに变更させていただきます。

【(2016年度実績)販売電力量とCO2排出係数】

2016年度 販売電力量 (10 ³ kwh)	二酸化炭素排出量 (10 ³ t-CO ₂)	二酸化炭素排出 係数 (kg-CO ₂ /kWh)
5,803	(実二酸化炭素排出量) 2.385	(実排出係数) 0.411
	(調整後二酸化炭素排出量) 2.177	(調整後排出係数) 0.375

上記値は、「地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)」に基づき、国に報告した値です。国にて確認のうえ、官報にて公表されたものです。

各家庭の電気ご使用量によるCO2排出量は、以下の方法によって算定できます。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{CO}_2\text{排出量} \\ \text{(kg-CO}_2\text{)} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{電気のご使用量} \\ \text{(kWh)} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{電気の} \\ \text{CO}_2\text{排出係数} \\ \text{(kg-CO}_2\text{/kWh)} \\ \hline \end{array}$$

例えば、

2017年度、年間で3200kWhのグリーンコープでんきを使用した場合、
3200kWh×0.320=1024kg の二酸化炭素が発電のために大気中に排出されたこととなります。